

時習館SGHの概要

1 SGHとは

SGH（スーパーグローバルハイスクール）は、文部科学省の指定により、「グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成」をめざすもので、本校は平成27年度から指定を受けています。

2 時習館SGHの研究開発名

「日英独高校生の国際シンポジウム等によるグローバル・リーダーの育成」

3 時習館SGHの研究開発の概要

本校の「自ら考え自ら成す」の精神を实践し、「問題発見・解決力」「論理的思考力・批判的思考力」「英語による説得力のあるプレゼンテーション能力」「異文化を理解する力」等の国際的素養を身につけた、**日本の未来を創造的に描くことができるグローバル・リーダーの育成**をはかる。

課題研究テーマを「共生社会と教育」「歴史と文化」「経済発展と環境」「国際政治・外交」「日本の貢献・国際協力」の5分野に設定し、以下の内容で実施する。なお、「SGH海外学習」を実施するにあたっては、日本及び日本を取り巻くアジアの現状と課題についての理解を深めた上で、日英独高校生の人文科学、社会科学に関する共同研究に取り組む。

- ①「カリキュラム開発」
・学校設定科目の設定
- ②「SGH発展学習」
・国内の大学・企業等と連携
- ③日本及び日本を取り巻くアジアについての探究活動
- ④「SGH海外学習」
・英国・ドイツの姉妹校との『日英独高校生による人文科学・社会科学に関する国際シンポジウム』
・海外研修
・海外の大学・国際機関・企業との連携
- ⑤「SGカルチャー」「SGH特別講演会」



（※ 今後の予定先等も含む）

（1）カリキュラム開発

【SGアジア探究】

「アジアにおける日本」の立場を理解するための基礎知識を習得し、5つの課題研究テーマの中からテーマを設定し、グループごとに課題研究に取り組み、プレゼンテーションを実施・発表する。

【SG国際探究】

1年次に学習した「SGアジア探究」の成果を踏まえながら、広く「世界の中のアジア及び日本を知る」という観点で、5つのテーマの中から課題研究に取り組む。

【SGグローバル社会探究】

1・2年次の内容を踏まえ、各自が明確な職業観を身につけ、それぞれの進路に応じて課題を設定し、グローバル社会の中で果たすべき役割について探究する。

【SS&SGロジカルシンキング・コミュニケーション(LTC)】

論理的思考力・批判的思考力を養い、課題研究の内容を説得力あるものにする。グループ討議を効率的に運営する能力を身につけ、グループでの探究活動が円滑に行えるようにする。情報発信力の向上をはかり、効果的で説得力のある課題研究成果の発表ができるようにする。

【SS&SG English for Social Purposes(ESP) I・II】

表現活動を通して英語圏の歴史や文化、環境、共生社会等について考察し、課題研究テーマの適切な設定や理解の深化につなげる。グローバルな課題等についてディスカッションを行い、異文化理解力の育成・向上をはかる。

【SG日本文化探究 I・II】

学校設定科目として開発し、日本や他国の伝統文化に関係する評論、小説や古典を読むことで、日本の伝統や文化を理解する。ディベートやプレゼンテーション等を通して日本の伝統や文化を的確に発信、受信できるようにする。

(2) SGH発展学習

【国内の大学、企業、国際関連機関との連携】



大学や企業と連携し、グローバルな課題に対する理解を深め、国際舞台で活躍する企業人としての心構えや「論理的思考力」等を育成する。また、国際関連機関との連携を通して、日本がグローバル社会で果たすべき役割・任務を探究する。

【大学の留学生との連携】

大学の留学生等との意見交換を継続的に行い、グローバルな課題に対する理解を深める。また、課題研究の実施過程において、指導・助言を受ける。

(3) SGH海外学習

【海外研修】

交流実績のある英国・ドイツを訪れ、現地の大学・国際機関、企業等での課題研究テーマに関する講義やフィールドワーク・ワークショップ、さらに姉妹校での課題研究成果の発表を通して、次年度の探究活動に結びつけるとともに、平成28年以降、本校で開催の「日英独高校生による国際シンポジウム」の充実をはかる。

【事前研修】

予定表



課題研究テーマの一つである「歴史と文化」について、段階的かつ集中的に専門家や外部講師等を招いて講義や個別指導を行い、グローバル・リーダーとして必要な「課題の発見・解決力」「異文化を理解する態度と能力」「英語で発信する能力」等を育成する。そして、英語による「イングリッシュアセンブリー」での発表や、「日英独高校生による国際シンポジウム」での提案・ディスカッション、「海外研修」での課題研究成果の発表ができるための素養を身につける。

【日英独高校生による国際シンポジウムの開催】

姉妹校であるセント・ポールズ校、セント・ポールズ女子校（いずれも英国）、オットー・フォン・タウベ・ギムナジウム（ドイツ）の3校から10月に短期交換留学生が本校に来校する。その機会に開催し（平成28年度）、1・2年次に取り組む課題研究テーマに基づいたグローバルな共通課題を英語で実施で提案、ディスカッションすることで、課題研究テーマへの理解を深める。

(4) SGカルチャー



大学・研究機関、企業等の専門家や外部講師による講義や指導を受けて、フィールドワークを行い、課題研究テーマに対する関心・意欲を高め、探究的な学習を深める。

(5) SGH特別講演会

専門家や外部講師を招き、探究的な学習に対する意欲を喚起させ、グローバルな課題やビジネスに対する理解を深める。

(6) その他

【部活動】

「英語部」を「外国語部」に改編し、外部講師の協力も得てグローバル社会で活躍できる資質を育成する。「歴史部」を新設し、主に日本とアジア諸国との歴史的な関係を学び、アジアにおける日本の適正な歴史認識を持たせる。

4 平成27年度SGH研究開発の報告

SGカルチャー

シルクロード経由で大陸から伝来した文化財を現地で直接見聞することで、「日本がアジアの一員である」ことを意識させ、課題研究テーマの設定の一助とする。また、文化財に関心を持たせ、日本の文化を世界に発信できるようになるために、現地で専門家の講演を受講した。

＜参加者＞

時習館高校生35名（男9名、女26名）、時習館高校教職員3名

＜日 程＞

平成27年7月4日（土） 石舞台古墳、伝飛鳥板蓋宮跡、飛鳥寺、飛鳥資料館・講演、藤原宮跡
平成27年7月5日（日） 興福寺、東大寺大仏殿・法華堂、法隆寺

＜訪問の様子＞



伝飛鳥板蓋宮跡



杉山 洋氏による講演



法隆寺

＜参加生徒感想＞

- ・講演では、日本とアジアの古くからのつながりから現在の国際交流についてまでを勉強することができて良かったです。発掘遺跡とその地域住民とのつながりの難しさや重要性を学ぶことができました。
- ・都の造り方などは知っていたけれど、衣服、彫刻もかなり中国、朝鮮の影響を受けていたことが講演でとてもよくわかった。海外でも遺跡の保護活動に協力し活躍している人がいるということを知ることができて視野が広がった。
- ・資料館内の説明や講話は、大仏や絵からわかる日本と外国との関係についてが理解でき、おもしろかった。実際に藤原宮跡に行き、日本最大の藤原宮のサイズを肌で感じることで嬉しかった。
- ・展示物の中では、庭に置かれていた石人像が非常に印象に残っています。あの像のモデルは、その顔の特徴や服装から、唐の北方のトルコ系民族の突厥もしくはウイグルではないかと予想し、講師の先生にその話を持ちかけ、意見交換ができたことと、それを探究する方法についてのアドバイスをいただいたことは非常に良い経験になりました。
- ・高松塚古墳の壁画や石槨や奇妙な石像を見ることができて、教科書で見るよりも頭に入ってきた。



グローバル企業訪問

地元のグローバル企業を訪問し、ものづくり現場を見学することにより、グローバルな課題への興味・関心を喚起し、課題研究テーマの適切な設定や理解を深める機会とした。

＜参加者＞

時習館高校生20名（男16名、女4名）、時習館高校教職員3名

＜日程＞

平成27年8月26日（水） 株式会社デンソー本社及び高棚製作所

＜参加生徒感想＞

- ・進路先にグローバル企業という新しい選択肢ができた。グローバルは世界に拠点を作るだけでなく、世界に打ち勝っていく力も必要だとわかった。
- ・日本のトップクラスの企業訪問ができてよかった。規模の大きさに圧倒された。
- ・グローバル企業といっても日本の良さを残したうえで、環境、障がい者などにも配慮して研究・開発をしているところに感動した。
- ・外国人とは異なる文化・宗教から価値観も異なるので、意思疎通をすることがむずかしいと思うが、コミュニケーションがとれる工夫がされていることがわかった。

【今後の主な実施予定】

ミニ講義（講座）

9月17日実施予定

講師：関健作氏（写真家）

国内大学との連携

10月7日京都大学で実施予定

SGH特別講演会

9・11月に実施予定

[戻る](#)



「SGH 海外学習 英国・ドイツ研修」事前研修 予定表

回	月・日	曜	時 間	内 容 等
【研修スタートまでの課題】 ・必要な情報をできるだけ多く収集し、スムーズに発表原稿の執筆ができるようにする ・研究発表のアウトラインを少なくとも日本語で作成しておく（書き方は9月上旬に指示） ・「日本人らしさ」とは何か、各自で考えておくこと				
①	9月28日	月	16:30～18:00	・オリエンテーション ・グループワーク（課題研究テーマの共有） ・10/21 トークセッションに向けて 「日本人らしさ」について英語で話し合う（仮）
②	10月6日	火	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(1) 講義：発表とは 発表原稿の作り方について
【10月9日（金）までに課題研究のアウトラインを英語で作成し、提出】				
③	10月21日	水	16:30～18:00	・交換留学生及び引率の先生方とのトークセッション トピック：日英独3ヶ国の国民性について
④	10月27日	火	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(2) 発表原稿進捗確認、発表原稿作成についての個別指導
⑤	11月9日	月	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(3) 紙媒体資料を用いた効果的な発表について 発表資料作成開始、発表原稿作成についての個別指導
【11月20日（金）までに発表原稿を完成させ、提出】				
⑥	11月24日	火	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(4) Assembly 本番を想定したグループ内での発表練習 グループ内で発表資料について相互アドバイス
【11月27日（金）までに、修正を施した発表資料を提出】				
【12月上旬】海外研修参加生徒 選考面接 ・5分以内の研究発表プレゼンテーションを、発表資料を提示しながら、英語で行う				
⑦	12月8日	火	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(5) ディスカッションをグループで実践
⑧	12月15日	火	16:30～18:00	・English Assembly に向けた課題研究(6) Assembly本番を想定した発表・ディスカッション練習
⑨	12月19日 予定	土	9:30～16:30	・English Assembly (研修参加者は全員参加、希望者で60名程度) 内容 午前：異文化理解に関する講演、ワークショップ 午後：グループ内での課題研究発表、討議まとめ
【12月下旬】海外研修参加生徒 選考結果発表 ・参加生徒は、次の研修までに、自分の研究をより深化させておく				

以下は海外研修参加生徒のみ

⑩	1月18日	月	15:30～18:00	・海外研修オリエンテーション、校長講話 ・ヨーロッパ文化研修（派遣国別に） 概要についての説明を聴き、情報共有 ・姉妹校での発表に向けた課題研究(1) スライドを用いた発表について、絵コンテ作成
⑪	1月25日	月	16:30～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(2) スライド作成（情報室）、個別指導
⑫	2月2日	火	16:30～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(3) スライド完成、提出（情報室）、個別指導
【2月4日（木）までにスライドを完成させ、提出】				
⑬	2月9日	火	16:30～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(4) 添削を受けてスライド修正、発表練習（個別）

⑭	2月19日	金	16:30～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(5) 発表練習（個別、派遣国別に）
⑮	2月29日	月	14:00～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(6) 発表練習、模擬ディスカッション（派遣国別に） ・17:00～ ドイツ研修（ドイツ渡航者のみ）
⑯	3月3日	木	15:30～18:00	・姉妹校での発表に向けた課題研究(7) 最終発表練習、模擬ディスカッション（合同） ・海外研修直前指導
渡航（3月9日～16日 予定）				

＊ 1月以降の研修では、訪問国に関する学習、旅行社からの説明会なども随時行う。

[戻る](#) 